

**組合員専用WEBページ**

2024年1月15日より  
開設します!!

神奈川土建

ハスコード: kd2024 (半角小文字) でログイン



神奈川土建一般労働組合機関紙  
神奈川土建ホームページ

発行所  
神奈川土建一般労働組合  
〒221-0045 横浜市神奈川区  
神奈川2-19-3  
建設プラザかながわ  
☎045 (453) 9806 (代表)  
発行人 西川 智幸  
編集人 古溝 潤  
定価60円  
(神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

# 人が集まり成長する産業へ

## 働き方改革と人を大切にする経営

優秀な人材が集まる職場  
働きやすさと働きがい

2024年問題ともいわれる働き方改革関連法のひとつ「時間外労働の上限規制」が4月から適用されます。高齢化や人手不足で長時間労働が常態化している中、若ものが安心して入職できる職場づくりは、持続可能な産業へ転換するために避けて通れない課題です。首都圏共闘神奈川ブロックが主催した第7回担い手確保シンポジウムを紹介します。

### 経営者の意識改革が欠かせない

基調講演にたった特定社会保険労務士の北村博昭さんは、厄介な法律ができたではなく、人材が集まり成長する企業になるための第一歩ととらえる点を強調し、経営者の意識改革を求めました。

### なぜ長時間労働になってしまうのか

元請企業が週6日の労働を前提にした工期設定を是正しなければ、根本的な解決を望むことは出来ません。建設業は急な設計変更による手戻りなど、外的な要因によって対応を求められる場面が往々にして起こります。

書や労働条件通知書すら無い会社は、そもそも信用されないと言わざるを得ない。経営者には、働き方改革の意識を促すことが求められます。

### 仲間に困難あるときこそ組合の出番

中央執行委員長 益田 修次

旧年中は神奈川土建の諸運動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年のお正月も、健やかに過ごしたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の感染状況上の分類が5月に季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、人や物が動く正常な経済活動への



特定社会保険労務士 北村 博昭さん

また、他職種との調整を担ってきたベテランのリーダーに伴い、段取り不足による手待ちが増えるなどの弊害も生じています。更に後工程の職種は、遅れた工程の帳尻合わせを背負わされることも多く、残業を余儀なくされてしまいます。

### 経営トップの自覚と発信が重要

建設業における特殊性が働き方改革への対応が異なるスタンスで同地域と信頼関係を築いてきた日本が果たすべき役割は少なくないはずですが、



建設産業に目を移すと、東京・八重洲の再開発事業で重量鉄骨5本が崩落し、作業員2人が死亡した事故は、業界内外

### 人にやさしい経営とは何か

人にやさしい経営とは、単に従業員を甘やかすことではありません。従業員への幸せを真に願い、具体的に実行することです。例えば、従業員の手取り収入は減少してしまいが、安定した老後の暮らしを確保するために厚生年金を整備することです。また、資格取得や技能訓練、CCUSレベリングなど、従業員のキャリア形成を促し、誇りと働きがいを感じながら働くことができる人づくりをすることが「人にやさしい経営」なのです。

### パネリストを交えたフロア討論

公共発注者、建設事業者、組合専従者を交えたフロア討論では、それぞれの立場から働き方改革への取り組み状況や課題について報告が行われました。公務の仲間は、公共インフラの維持・管理はもちろん、災害時における地域の守り手としての、持続可能な建設産業



フロア発言では「週休2日を担保できる請求を出さない私たちも悪い」と自戒する声があがりました。「職人の生産性は低くはない。技術力を買いたたかれるため、不当に低い付加価値しか生めないことが原因」と構造的不合理が指摘されました。

### 大安吉日

東日本大震災から12年、数年前に双葉町を訪れることが出来ました。双葉駅舎は新築され見違える様でしたが時計は震災当時の2時48分を指したままです。駅前には双葉町役場が建ちましたが商店の姿は無く、復興は道半ばです。駅裏には災害公営住宅が新設されましたが、元々7千人居た町民は現在、百人ほどに減ったままです。戻りたい人13%、戻らない人65%、後は迷っている人です。除染作業が進んでおらず町で住める地域はわずか15%です。昨年ようやく一部の帰還困難区域に避難指示が解除されゼロからのスタートが切れました。小学校で被災した娘が今は20歳になったと語る案内人をつとめた町役場の橋本さんは「これからです」と力強く語ってくれました。

双葉町産業交流センターの屋上からは町を飲み込んだ太平洋が望め、改めて四方を見渡すと津波被害の凄まじさを実感しました。放射能汚染が復興の道を閉ざしていることを考えると、原発さえ無ければと怒りを禁じえません。改めて原発の恐ろしさを痛感させられた感じがします。被災者の皆さんが元の暮らしを取り戻し、一日でも早い心の安寧を得ることを切に願います。

# 50周年を

## 仲間と共に

### 青年部部长 島山 涉



島山 渉

新年あけましておめでとうございます。本部青年部長の島山です。日頃より青年部の活動にご協力いただき感謝申し上げます。特に一昨年から取り組んでいる青年部デーはみなさんの協力により、大きな前進を遂げることができました。昨年からは、青年部デーを「分会ごと一緒に行動する日」と位置付けており、活動を通して支部・分会と青年部の距離が近くなると感じております。青年部員の奮闘と基本組合の皆さんのご支援で春・秋の拡大月間ともに部員・組合員目標をW超過達成することができました。心から感謝申し上げます。



盛り上がった拡大打上式

た。しかし、残念ながら雨で中止となり、非常に悔しい思いをしました。秋の拡大打上忘年会では、コロナ禍による規制も解除されたことで15支部30人が参加し、大盛り上がりで拡大の成果を称え合いました。私も久しぶりに多くの仲間と交流できて嬉しくなり、ついお酒が進んでしまいました。昨年を通じて、各支部独自イベントや各ブロックイベントを開催する支部が増えてきたと感じます。一方

で、まだまだ動きにくい支部もありますが、引き続き私たち本部青年部四役が支部の部会などに積極的にオルグ参加してサポートします。

# シニア組合員の結集

### 本部シニアの会長 小松 健二



小松 健二

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。シニアの会は、2年前の大会で支部が運動主体とする方針確認を行い、会の目的の仲間の見守り活動を支援する企画行事補助制度を4月からスタートさせました。以前からあるバス旅行補助金を発展させ2023年から対象を広げ、既に238人の申請があります。各支部シニアの皆さんにはエネルギーシニアの活動をお願いし、シニアの会が仲間との交流を活性化することで、一人ぼっちになるシニア会員をつくらず、結びつきを強くして組合の運動参加の一翼となる会を目指して行きます。コロナ禍を超えて、仲間が顔を合わせて行動できる機会が復活し、一泊旅行、バスハイク、ウォーキング



2023年シニア定期大会

秋の拡大月間では、13人の会員拡大の目標に対して106人を加入。達成こそしなかったものの3桁の目標に3桁の成果は、620人の参加者の行動力と、達成15

今年も神奈川土建の皆さんと、各支部の会長さんとともに神奈川土建を盛り上げていきます。シニアの会に加入する全会員の皆さんの力強い応援をお願いして挨拶とさせていただきます。

# 50年の想いをつなぐ

### 主婦の会会長 功刀 郁子



功刀 郁子

新年おめでとうござい。日頃は主婦の会に多大なご協力を頂き、心より感謝申し上げます。昨年はコロナ禍が明け、組合も主婦の会もイベント等が一気に活発化しました。支部を中心とした活動も様々で、元氣いっぱい主婦の会は足

を止める事なく走り続けて来ました。仲間と繋がる事に喜びを感じながら、春・秋の仲間作りの拡大月間では、422人の新しい出会いも生まれ、支部で活動に協力してくれるもたくさん誕生しました。常に仲間と連絡を取り合い励まし合っ

果をしっかりと得た取り組みも重要です。そして2024年度は私たち主婦の会にとって50周年を祝う年！大きな節目を迎えます。全会員のみなさんと共に、これまで50年の運動の歴史を作り上げて来た諸先輩に心からの敬意と感謝を表し、取り組みを準備しています。そして50年の想いをつなぐ、これからの新しい時代に向かって『主婦の会』の名称も6月の大会にて変更するため、支部での会議を経て本部執行委員会にて討議を重ねております。役員一同、暮らしの向上と主婦の会の発展へ願いを込めた新名称を掲げ、運動の前進への思



ランチビュッフェ大成功の川崎西支部

いをつなぐ、全会員の思いを一つにして、共にさらに頑張りたいと思えます。また、先日の女性セミナー本校では、人権を尊重し合う社会「誰一人、排除されない社会」を目指すことで、一人ひとりが安心して暮らしていける世界、

戦争の心配をしなくていい世界を作っていけることを学びました。主婦の会はそのような世界を未来に生きた仲間へ手渡していけるよう、社会情勢にもしっかりと耳を傾けて学び、仲間とのつながりをさらに強く持ちたいと思

# 仲間の声集めて前へ

### 資本従事者の会会長 後藤 満夫



後藤 満夫

新春のお慶び申し上げます。近年、建設業の情勢は目まぐるしく変わる中、昨年は神奈川土建資本従事者の会の運動にご協力いただき、公式LINE

への登録は1500人を超え、多くの仲間へ情報発信ができたと思えます。同時に仲間の皆さんから現場改善の要望や現場でのパワハラ、労働災害などの情報が寄せられ、改善できる部分については元請企業にコンや関係する企業、国交省・厚労省などの交渉に取り組みできました。現場の労働環境などに



大成建設との交渉

さらに多くの仲間からの声が組合へ届くように神奈川土建公式LINEへの登録を広げる運動を続けていきます。皆さんも安全第一で、命と生活を守り、建設技能労働者の処遇を改善していくため、団結し2024年も頑張ってください。

発足より2年の岸田政権 いまだ国民に向き合わぬまま

新春特別企画  
総選挙特集

# 聞く力も語る力もない

## 狂乱物価の生活苦に追い打ち 国民襲うメガトン増税

天井知らずの物価高騰と一向に上がらない賃金。国民生活が極限に追い込まれている状況にもかかわらず「聞く力」を強調して発足した岸田政権は、一切の策を講じようとしません。その一方で、大増税だけは国民に背負わせる、やらずぶったくりの政権です。「検討を加速」という理解に苦しむ発言に、国民は「語る力」すら感じることができません。

2023年を一言で表すと「物価高騰」の年につきます。9月の消費者物価指数は、2020年を100とすると、総合指数で106.2でした。前年の同月と比較すると3%上昇しており、23年も物価高騰が続いていたことがわかります。



天井知らずの物価高騰に苦しめられた一年

「乳卵類」の前年同月比は20.6%、その中でも鶏卵は31.2%と高い数値を出しました。また「生鮮野菜」も13.1%と続きました。さらに「家事用消耗品」の前年同月比は12.7%で、トイレトペーパーは16.6%と家計に直結する生活必需品

震災復興を目的としていた「復興特別所得税」は37年までの徴収予定でしたが、増額する防衛費をまかなうために14年、20年の延長が検討されています。介護保険制度は24年の制度改正を目標に「高齢者の介護保険自己負担率増加」が計画されています。現在の自己負担割合は原則1割ですが、所得に応じて2割または3割負担を求める改善となります。国民年金保険料の納付期間を5年延長する案について、25年までに結論を出す方向で進められています。改悪案が通過すれば約百万円の負担増となります。24年から、1世帯あたり年間千円を住民税とあわせて徴収する「森林

雇用保険税 (2022年、2023年)
国民健康保険税 (2022年~24年)
介護保険税 (2023年、2024年)
森林環境税 (2024年)
国民年金税 (2024年)
法人税 (2027年)
所得税 (2027年)
たばこ税 (2027年)
消費税 (将来的な増税否定せず)
退職金税 (疑惑)
通勤手当税 (疑惑)

## 15兆円のステルス増税

環境税」がこっそりとスタートします。しかし、肝心の森林整備には5割弱しか活用されません。23年の税制改正により生前贈与の対象期間が7年に引き延ばされます。対象期間が広がったため、

もが感じられるような国を目指す」と記者に語りどく吹く風。一方で、増税や社会保険料アップによる国民負担の増大を狙っています。少子化対策やガソリン価格を引き下げるトリガー条項発動には財源がないと言いつつ、青天井の万博費用の増加やパーティー券収入の政治資金報告書への不記載について説明責任を果たさずとほしません。

国民から「増税メガネ」とやゆされ、内閣支持率は下落の一途をたどっています。低所得世帯への

品の価格高騰に苦しめられました。他にも菓子類・調理食品・穀類・飲料・肉類など生活必需品の上昇が目立っており、多くの世帯が狂乱物価に翻弄される一年となりました。生活保護世帯は165万を超え、7人に1人の子供が貧困状態に陥っている状況にもかかわらず、岸田首相は「明日は今日よりも良くなる」と誰

給付金やガソリン補助などを含む経済対策の補正予算を成立させました。が、財源に将来の増税や社会保険料アップを見込んでいます。

岸田首相は11月末に東京都内での講演で「内外の難局に不転換の決意で臨んでいきたい」と引き続き国政を担う決意を示したが、「新しい資本主義」「新時代リアリズム外交」など空虚なスローガンに、これ以上たまたまされる国民はいません。

## 軍事費11兆円に倍加 軍拡増税ゴリ押し



岸田首相 国債の発行は否定 防衛費めぐる増税に理解求める

将来の世代に責任を果たすために  
ご協力いただきたい

会見で軍拡増税に理解を求める岸田首相

実質的に増税と同じ効力を持つといえます。「次元の異なる少子化対策」の素案を示しましたが、毎月給与から天引きされる医療保険料に上乗せする財源の徴収方法に批判が上がっています。

首相は防衛費と関連予算の総額を27年度に国内総生産(GDP)比2%に増やすよう指示しました。23年度から5年間の防衛費を総額約43兆円とし、27年度以降に約11兆円と2倍化させ、そのう

## 長距離巡航ミサイル・トマホーク

## 一発8億を400発

米政府は日本に対する米国製長距離巡航ミサイル・トマホークの売却を承認し、議会に通知しました。関連器材などを含まれた売却額は約3500億円に上ります。政府は実際の購入単価を明らかにしていませんが、ミサイルの格納容器と合わせ

ち1兆円強を増税で賄う方針も表明しました。早くも政府内では法人税、たばこ税の増税や、東日本大震災復興に充てる復興特別所得税の流用案が浮上しています。24年度の軍事予算は7.7兆円と過去最大を大幅に更新しました。この増額分があれば、年12万円の年金増額や、医療費の無償化、消費税の2%減、大学の無償化、小中学校の給食無償化、児童手当の高校までの延長等が可能です。軍拡に予算を使うよりも、国民のために使われるべきです。

て1発あたり8億円超と推計されます。一方、米海軍省の23会計年度予算書を見ると、米国内の調達価格の2倍で売り付けられる恐れが指摘されています。今回の売却額は円安などが影響し、予算額より約280億円も膨らんでいます。

# 結局は何もしてない 止まらない辞任ドミノに虚無感

「緊張感をもって注視」するだけで何もしないと批判されている岸田首相ですが、第二次補正予算で経済対策を打ち出した。生活支援策の一つとして盛り込まれた所得税などの一人当たり年間4万円の定額減税について「過去2年間の税収の増加を国民にわかりやすく還元するため」と物価高騰に苦しむ国民への支援策を強調しました。その後、鈴木財務大臣が「過

去の税収増はずでに国債の償還にあてられていく」と財源がないこと明らかにしました。岸田首相は当初から赤字国債で減税分を穴埋めする算段だったことに、多くの国民が不安を抱きました。

岸田首相は9月発足の第2次再改造内閣について「適材適所」と胸を張りましたが、女性問題で山田太郎文部科学政務官、選挙違反事件への関与で柿沢未途法務副大臣、税金滞納で神田憲次財務副大臣と3閣僚が辞任。さらに、自民党安倍派の政治資金パーティー裏金問題を巡り、同派の閣僚4人を含む15人を更迭する人事を発表。党側では安倍派事務総長の高木毅国

対委員長、同派の萩生田光一政調会長が交代し、師走の街に衝撃が走りました。

倍政権への批判や疑問には背を向け、国葬を強行しました。一貫した信念やビジョンがなく、その時々の事象に合わせて変化する岸田首相の評価について、政治学者の中島岳志氏は「ブレることだけはブレない」と評しました。21年の自民党総裁選の所信表明演説で、安倍・菅政権への批判を込めて「自民党に声が届いていない」と国民が感じている」と力を込めましたが、23年正論大賞贈呈式では「安倍元総理が愛したこの国を次の世代に引き継いでいく」と当初の熱意とは正反対のスピーチをしました。

自民党派閥のパーティー券裏金問題は、かつて日本政界を揺るがしたリクルート事件以来の大疑獄事件に発展してもおかしくはありません。常に自民党に付きまとう「政治とカネ」が問題の根本にあります。

76年に田中角栄元首相が受託収賄などの容疑で逮捕された「ロッキード事件」では、運輸大臣経験者や運輸政務次官経験者も起訴され、「政治とカネ」の問題が社会に強く意識されるきっかけとなりました。88年に未公

開株が竹下登首相のほか、中曽根康弘首相、宮澤喜一蔵相ら多くの大物政治家に譲渡されていた「リクルート事件」で竹下内閣は総辞職しました。93年に「政界のドン」といわれた金丸信・元自民党副総裁が脱税の疑いで逮捕。93年から94年にかけてはゼネコン各社が政界や地方の首長などに賄賂を渡していた「ゼネコン汚職事件」が摘発。これが原因で自民党は下野しました。

こうした悪しき政治姿勢は現在の自民党にも色濃く引き継がれ、近年においても「政治とカネ」が原因で逮捕・起訴される政治家が後を絶ちません。

## 閣僚辞任ドミノ 国民は言葉失う

第1次岸田内閣の4閣僚辞任の悪夢も覚めぬまま、23年に入っても辞任ドミノは止まりません。

## ウクライナ侵攻とガザ地区侵攻 二重基準で米国付度

「イスラエルによるガザ地区への空襲、地上作戦は国際法違反か」山添拓議員（共産）の質問に対し、岸田文雄首相は明言を避けました。ロシアのウクライナ侵攻を「国際人道法違反」と断言したのと対照的な姿勢に「二重基準」との批判があがっています。

国際人道法はジュネーブ諸条約で民間人の住民を攻撃対象とすることを禁じています。また、軍事目標に対する攻撃であっても、巻き添えによる民間人の死傷が過度となることは「無差別攻撃」

として禁止されています。イスラエル軍によるガザへの空襲や地上侵攻では、既に子ども7千人以上を含む、1万8千人を超える死亡が発表されており、これらの攻撃は、明確に国際人道法に違反しています。また、ジェノサイド条約が固く禁じている集団殺害に違反する恐れがあります。

独自の判断を示せずにいる日本の背後には、ユダヤ人のパレスチナへの入植を後押ししてきた米国や欧州各国への付度があります。日本はこれまで欧米とは異なる価値観

で中東諸国と関係を築いてきました。しかし、90年の湾岸危機や03年のイラク戦争を経て、米国追従の姿勢が色濃くなったことで、その矛盾が露呈する結果となりました。ガザ地区では今もなお、刻一刻と命が失われているにもかかわらず岸田文雄首相は、イスラエルによる数々の国際法違反を批判しないばかりか、人命を最優先とする即時停戦も求めません。

日本政府は、米国が支援するイスラエルに配慮し、毅然として物が言えません。この異常な態度を改め、病院や学校、難民キャンプへの攻撃など国際法違反の行為をやめるよう国際社会と連携して外交努力を行うべきです。

## 希望も安心もない少子化対策

「異次元の少子化対策」を掲げる岸田政権は、必要とされる年3・5兆円規模の財源について、税金で徴収することへの不満をそらすために「第2の税である公的医療保険」へのの上乗せを26年度から始めることを画策しています。1人月500円の「支援金」制度の新設について岸田首相は「全体の取組を通じて見れば社会保障にかかる国民負担率は上昇しない」と強弁します。しかし、少子化対策としての減税は行わないため支援金の分だけ負担率は上がります。

財界頼みの賃上げと社会保障費の歳出削減で負担率を減らし、支援金を捻出する策ですが、結局は国民に新たな負担増と社会保障削減を押し付ける「希望も安心もない少子化対策」です。

3人以上の多子世帯の大学授業料などを無償化する方針にも批判が集まっています。所得制限も設けずに子どもの人数で保障に大きな格差が生まれる制度設計も問題ですが、そもそも若い世代が安心して結婚し、子どもを持つ環境が整っていないことに少子化の原

## 岸田政権の主な出来事



### 2021

10月 政権発足

### 2022

- 2月 ロシアがウクライナに侵攻
- 7月 安倍元首相が銃撃事件で死去
- 8月 第2次岸田内閣が発足
- 9月 安倍元首相の国葬
- 10月 経済再生相を統一教会問題で更迭
- 11月 法相の死刑執行を巡る失言で更迭
- 12月 総務相を政治資金問題で更迭
- 12月 復興相を政治資金問題で更迭
- 12月 総務政務官が差別発言で辞任

### 2023

- 6月 首相補佐官の長男を不祥事で更迭
- 8月 外務政務官が汚職事件で辞任
- 10月 文科政務官が女性問題で辞任
- 10月 法務副大臣が公選法違反で辞任
- 11月 財務副大臣を税金滞納で更迭
- 12月 裏金問題で閣僚ら15人を更迭

なることは「無差別攻撃」

なることは「無差別攻撃」

なることは「無差別攻撃」

なることは「無差別攻撃」

なることは「無差別攻撃」

なることは「無差別攻撃」

# 自公 にすり寄る 補完勢力

各報道機関が行った12月の世論調査で、岸田政権への支持率が低下が鮮明となりました。岸田内閣を「支持する」と答えた人は、11月の調査より6

ポイント下がって23% (NHK)、産経新聞とFNN調査に至っては不支持率が71.9%と初めて7割を超えました。燃料や生活物価の高騰に苦し

む国民に、増税の冷や水を浴びせ掛ける岸田政権への怒りと失望が調査結果に表れる結果となりました。本来であれば、与党の



補正予算案に賛成した維新の会と国民民主党 低支持率に苦しむ政権与党に助け舟

悪政に對峙して国会で論戦を繰り広げるのが野党の責任ですが、日本維新の会・馬場伸幸代表は「第1自民党と第2自民党の改革合戦が政治を良くする」と自ら補完勢力であると胸を張りました。通常国会では原子力政策を大転換するGX脱炭素電源法や、健康保険証廃止への不安が高まる中での改正マイナンバー法、外国人の収容・送還ルールを改める改正入管難民法で賛成に回り、自民党の援護射撃に徹しました。「自民党のアクセラ役にやりたい」。国民民主党の玉木雄一郎代表は同党の集会で表明し、「第2

自民党でいい」と述べた日本維新の会に負けんごうの存在感をアピールしました。通常国会では維新同様に政府提案に賛成しました。また、LGBTQ理解増進法を巡って、維新と共同提出した独自案を与党に「丸のみ」させる一体ぶりは、事実上の連立政権と疑われてもおかしくない行動です。西党には国民生活や野党の誇りより優先すべき政治野心がある点で共通しています。また、その野心は両党の存在意義をも左右する政治的アクセラターであることも同様です。

## 万博とトリガー条項

### 毒まんじゅうに喰らいつく無節操

政府の総合経済対策の裏付けとなる23年度補正予算に、日本維新の会と国民民主党が揃って賛成しました。これを受けて麻生太郎副総裁は派閥会合で「4党連立でできたことは喜ばしい」と毒まんじゅうに喰らいつく両党をあざ笑いました。

事実、総額13兆円の補正予算の中身は、抜本的な物価高騰対策や生活支援とは程遠く、選挙目当ての所得税減税などを含んでおり、維新・国民といえども到底賛成できる代物ではありませんでした。それにもかかわらず、自民党の軍門にくだった

なぜなのか。両党が抱える政治的なアクセラターが大きく関係しています。維新の会は大阪・関西万博の会場建設費の一部が補正予算案に盛り込まれていたことで反対に回ることを封じられてしまいました。記者団に「苦渋の決断」を強調しましたが、誘致決定時には1250億円だった会場整備費は、総額3千億円に膨れ上がり国にすぎり付くしかない状況です。選挙公約では「大阪・関西万博の成功」を掲げ、これまで万博誘致の成功を実績として誇ってきた日本維新の会。「身を切る

「自国維公(じこくいこう) 地獄行こう」SNS「X」への投稿が、「悪政4党」のハッシュタグと共に注目を集めています。日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で、自公維国を「悪政4党」と党大会議案で表現したことに「事実を書いておきます」と語りました。自公与党を先頭に維新の会と国民民主党が健康保険証の廃止、原発推進、難民外国人の人権を侵害する入管法改悪などにごとく賛成し、改憲と戦争できる国家づくりを煽ってきました。特に憲法改正に慎重な立場を自認し

## 自公維国の改憲4党連合

党総裁任期中の憲法改正を目指すとした岸田文雄首相の意向があります。内閣支持率の低迷に苦しむ岸田首相にとって、改憲を期待する右派支持層の信頼回復が課題となっています。24年9月に迫った総裁任期までに、何とか改正原案の作成にまでこぎつけたい首相の焦りが透けて見えます。また、自民党としても岩盤支持層である改憲右派の期待が、改憲と皇位の男系継承に前向きな日本維新の会や国民民主党などに向かうことを恐れている多数の国民が、来たるべき解散総選挙で投票に行くしかありません。

## 自民に塩を送る前原新党

年末に政党交付金を巡って新党が乱立する風物詩の一つに前原新党が加わりました。しかし、「教育無償化」という単一争点を党名に選んだ背



過ちを繰り返す前原氏

が埋没してしまうことを嫌い維新に秋波を送っていました。「非自民・非共産」を政治理念としているようですが、自らを第2自民と自負する維新の会との接近に矛盾を感じることは無いのでしょうか。民進党の代表であった17年に小池百合子・東京都知事と「希望の党」を設立。結局、合流は空中分解して有権者の信頼を失い、与党を利する結果となりました。国民の生活よりも自身身のプライドを優先するのであれば、同じ過ちの繰り返しになります。

# 共闘の力に声たくす

## 額に汗して働くものの声に寄り添う政治勢力を強く大きくしよう!

### 政治を取りもどそう

有識者や市民団体でつくる「市民連合」は、次の衆議院議員選挙を見すえて、日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組、社民党、参院会派「沖繩の風」の5党派に対して、憲法9条の改憲反対や原発に頼らないエネルギーへの転換など5項目の政策要望を野党の共通政策とすよう求めました。

立憲民主党の岡田克也幹事長は要望を受けて「要望書5項目で野党が協力し、力合わせができる土台が整った」「しっかりと野党が力をあわせて、大きな政策転換を図っていききたい」と述べました。この発言に対して日本共産党の小池晃書記局長は「非常に心強い発言だ」「市民と野党の共闘の再構築に全力を尽くしていききたい」と呼び寄せました。れいわの榑万里共同代表、社民の服部良一幹事長、沖繩の風の高良鉄美参院議員も野党共闘に積極的な姿勢を示しました。

市民連合運営委員の佐々木寛氏は「市民と野党の共闘を再構築して力を合わせていきたい」と表明しました。



市民連合から共通政策を受取る野党各代表

### 神奈川土建の代弁者を国会へ

日々現場で汗する仲間の声を直接聞き取り、国会に届ける議員を一人でも多く神奈川から送り出すことは、私たちが求める要求を実現させるために欠かすことができない大切な要素です。しかし、現在その人数は決して多くはありません。

コロナ禍においては建築資材不足や持続化給付金の不備ループ問題、ガソリン価格の高騰など、仲間の悲痛な思いを受け止めて国会や関係省庁に改善を訴えてくれる国会議員と政党の姿が必ずありません。次の衆議院議員選挙では「私たち神奈川土建の代弁者」を必ず国会へ押し上げよう。

24年4月からは建設産業にも労働時間の上限規制が適用されます。週休二日と有給休暇を保証す



国交省要請に同席する山添衆院議員(共産)(右から3人目)

る単価の獲得と抜本的な賃金の引き上げは、私たち建設労働者が長年求め続けてきた悲願です。また、被告建材メーカーを含めた建設アスベスト給付金制度の改正や消費税の減税、インボイス制度の廃止など法改正を伴う要求は政治の力なくしては実現不可能です。

私たちの仕事とくらしは政治と一本の線がつながっています。ただし、どの線を選ぶのかで結果は大きく変わります。ましてや選ぶことすら棄権してしまつては、厳しい状況は何ら変わりません。全ての組合員に改めて呼びかけます。選挙に行こう。そして政治を変えよう。



旗びらきで国会復帰を誓う畑野前衆院議員(共産)

### 政権選択選挙は仕事暮らしに直結 政策見極め解散総選挙

衆議院議員選挙が「政権選択選挙」と呼ばれる理由は、衆院と参院で首相の指名や予算、法案の議決が異なった場合、最終的に衆院の議決を優先すると憲法で定められているためです。ですから各政党の政策を見極めて投票することが大切です。左の図は22年の参院選に全国保険医団体連合会が行った政党アンケートの抜粋です。私たちが求めている消費税減税に国民民主と維新の会が○印の「賛成」と回答しています。しかし、両党は現在「第2自民党」を自認する補完勢力です。また、△印の「その他」回答が多いのも特徴です。これほど単純明瞭な質問に明確な回答を避ける理由も見定めが必要ですが、市民連合が求めた5項目の政策要望に対する各政党の対応も選択の手助けになるでしょう。

【市民連合政策要望】①軍拡は許さない②市民の生活を守る経済政策③ジェンダー平等・人権保障④気候変動対策⑤立憲主義の政治

### 各党政策アンケート

○=賛成、×=反対、△=その他

	共産	れいわ	社民	立民	国民	維新	公明	自民
社会保障費「自然増」抑制の中止	○	○	○	○	△	△		×
75歳以上の窓口2割化中止	○	○	○	○	×	△		×
病床削減計画の中止	○	○	○	○	△	△		△
就学前まで子ども医療費無償化 国による制度の創設	○	○	○	△	△	△		×
妊産婦医療費の無償化	○	○	○	△	△	○		×
消費税をただちに5%減税	○	○	○	△	○	○		×
原発再稼働の中止	○	○	○	△	×	△		×
9条改憲しない	○	○	○	○	△	×		×
辺野古新基地建設の中止	○	○	○	○	△	×		△
核兵器禁止条約の批准	○	○	○	△	○	△		△

回答なし

出典：全国保険医団体連合会2022参院選・政党アンケート(抜粋)

大震災における地域建設産業への期待

関東大震災から百年

建設政策研究所は第29回全国建設研究・交流集会を12月10日～11日にかけて福島県内で開催。民間・公務の建設関係の労働組合から206人が参加しました。東京大学名誉教授の平田直さんによる「関東大震災から百年～大規模震災における地域建設業」と題した記念講演の一部を紹介し

M7クラス地震 毎年起きています

「マグニチュード7以上の規模の地震は、毎年1～2回起きています」平田教授の衝撃の言葉に



【プロフィール】平田直(ひらた なおし) 東京大学・地震研究所 名誉教授

息をのみました。気象庁のデータベースによると日本列島付近で1868年からの148年間にM7以上の地震は実に208回も発生しています。私たちが暮らす日本列島



関東大震災の地震源と相模トラフ (Wikipedia)

首都直下型地震 30年以内に7割

が4つのプレートの上に乗っかっていることを実感します。そして、関東大震災の震源となった相模プレートが私たちの真下で眠っていることを忘れてはなりません。

関東大震災から以前の220年間に首都圏で起きた大地震は8回で、平均発生間隔は27・5年。



神奈川県作成の「相模トラフ」最大震度分布図

今年も転倒やけがなく安全に

今年、明けましておめでとございます。皆さん、今年も安全な作業のもと転倒などによるけががないようご注意ください。1～2月に多い転倒災害

実は1月～2月は1年の中でも転倒災害が多い時期になっています。冬季は積雪や凍結による転倒災害のリスクが高くなるためです。さらに年間を通じての主な要因としては、床が滑りやすい状態となっていることや、

段差や荷物などの障害物などがあります。

筋力アップとストレッチ

注意点としては、整理整頓など作業環境を整えるなどの意識を持つことがとても大切です。自分にあつたサイズや滑りにくい靴選びも重要となります。また、日頃から筋力を鍛え骨格のバランスを整えておくことも大切です。筋トレによる筋力アップやストレッチによる関節の可動範囲を拡

げることが必要です。さらに、作業前の体

意識と身体への準備

転倒災害は重症化しやすいのが特徴です。年齢では50歳以上または経験年数が1年以内の方に多く発生しています。環境と意識と身体への準備をすることで転倒等による事故を防ぎ安全で健康な1年を過ごしていきましょう。



市川可奈子保健師の

健康のススメ

健康のススメ



建設職人は戦争NO!

核兵器廃絶は現実的な世論

神奈川県建設労連は12月17日、原水爆禁止世界大会へ代表参加した仲間を中心に「建設で働く仲間の街宣行動2023」

を桜木町駅頭で開催しました。神奈川県からは50人が参加し、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める署名宣伝を実施しました。「自分は建設職人です。核兵器を廃絶しましょう!」などマイクリレーで沿道に語りかけ、若い男性や子ども連れの女性が署名に応えました。核兵器禁止に向けた世界的な潮流の中で国内でもそれが実現可能なものとして広がり始めているのを感じます。

技術センターだより

資格講習会のご案内

神奈川県建設の講習

- 職長・安全衛生責任者教育 (受講料16,000円、休憩を除く14時間講習) 2024年2月18日(日)～19日(月) 会場：建設プラザかながわ
● 有機溶剤作業主任者技能講習 (受講料：14,000円、休憩を除く13時間講習) 2024年3月17日(日)～18日(月) 会場：建設プラザかながわ

神奈川県建設労連の講習

- ※支部を通じて神奈川県連に申込みして下さい。
● 足場の組立て等作業主任者 能力向上教育 (受講料：8,000円、休憩を除く7時間講習) 2024年1月23日(火) 会場：建設プラザかながわ

- フルハーネス型安全帯使用作業 特別教育 (受講料：8,000円、休憩を除く6時間講習) 2024年2月2日(金) 会場：建設プラザかながわ
● 木造建築物の組立て等作業主任者技能講習 (受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習) 2024年2月4日(日)～5日(月) 会場：建設プラザかながわ
● 石綿作業主任者技能講習 (受講料：10,000円、休憩を除く12時間講習) 2024年2月7日(水)～8日(木) 会場：建設プラザかながわ
● 丸のこ等取扱い作業従事者教育 (受講料：6,000円、休憩を除く4時間講習) 2024年2月14日(水) 会場：建設プラザかながわ
● 足場の組立て等作業主任者技能講習 (受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習) 2024年2月15日(木)～16日(金) 会場：建設プラザかながわ

その他の提携講習機関

nextPCT (旧：IHI技術教習所) コマツ教習所 PEO建機教習センター (旧：日立建機教習センター) 日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

青年部マル得援助金のお知らせ

青年部加入者の「マル得援助」の対象に「マル得資格取得祝金」に対応する国家資格等の受験料も加わりました。受験料の払込証または領収書を添付して申請を行ってください。

申し込み、問合せは所属する支部事務所へ

☆写真1枚(縦3cm×横2.4cm)を用意。無帽、無背景、上三分身、頭髪を含め顔、体を写真内に収める。(顔、髪、顎の見切れは受付不可)
☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします。
☆日程変更や中止になる場合もありますのでご注意ください。
☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます。
※募集の締切りは開催日2週前の平日です。申請書・写真・添付資料、受講料を準備して支部で申し込みをし、支部・単組は速やかに当センター提出してください。
※作業主任者講習、職長・安責教育、準備講座、JW-CADの申し込みには、労働者の場合は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、一人親方は労災保険加入証のコピー添付と、番号の申請書記入。また、最終学歴の記入をお願いします。

# 亡父の想いを受け継ぎ日々成長



建設を明日へつなげる者たち  
Next Generations  
57

誓を6年間勤めました。父親が病に倒れ亡くなったことを機に会社を退職し、父親が経営していた(株)水橋工業を引き継ぐことになり、今の仕事に。最初は、どこから始めたらいのかわからない状況でしたが、周りの人たちに支えられ続けていくことができました。従業員も増え大変なこともありますが、社長として日々頑張っています。組合に加入したのは、ハウスメーカーで働いているときに知り合った支部組織部長の杉原さんに声を掛けられたことからです。父親の会社を継いだ時に、労災保険や雇用保険などいろいろな手続きをしてもらったり、分

会や青年部に加入して色々な職種の人たちと繋がりを持てたりと、「組合に入ってよかったな」と感じています。分会の組織部長になり、拡大行動で組合員を訪問していたら、前職の職人が組合に加入して「久しぶり」と声をかけられて驚きました。色々な人に接する機会があり、楽しく拡大行動をしています。今、組合でやりたいことはコロナ禍

で出来なくなった「どけん祭り」に参加することです。そんな水橋さんの休日は、家族とドライブツーランドに行ったり、旅行に行くことがとても楽しいと話してくれました。これからも、家族を大切にしながら仕事に組合に頑張るそうです。(取材 永吉 沙伊未)



相模原支部  
水橋 拓麻さん  
32歳 (土木)  
水橋さんは、若沼分会で組織部長、青年部では

税金対策部長として活躍しています。神奈川土建に加入して5年目。支部や分会のイベントに家族ぐるみで参加したり、毎月の青年部会や春と秋の

拡大月間(仲間増やし)など組合活動に積極的に取り組んでいます。産まれも育ちも相模原。中学生の時は剣道、高校生の時には硬式テニ

スをするなど、いろいろなスポーツに取り組んで来たそうです。大学の建築学科を卒業した後は、某大手ハウスメーカーに就職し現場監

が概ね集まり、会場に座った頃、群会議がスタート。まずは群会議の話題を読み合わせ、次に署名と納入、続いて健康チェックではお互いの身体を気づかい、笑いも絶えません。この日、6群に入って3ヶ月の組合員の奥さんが参加していただき、和やかな雰囲気の中、健康チェックを行っている合間にいろいろ話をしているのと、組合員の夫が「仕事仲間を広げ

たい」と話しているとのこと。話しを聞いた甲斐では、仲間を楽しんでもらえるイベントや、仕事に役立つ学習会などたくさんやっていますので、ぜひ参加してください。こうした話ができることが健康チェックを行っている醍醐味ですね。

開会あいさつに立った面(おもて)委員長は、激甚化する深刻な災害発生時に、地域住民の要求に応えながら運動を進めてきた私たちの運動を振り返り「神奈川土建と行政の果たす役割を補完する磯子区社協とともに手を取り合えるきっかけとなるよう祈念する」としました。

神奈川県建設労働組合連合会、神奈川土建本部、横浜建設一般労働組合など、多数の来賓から祝辞をいただき、この取り組みが全体的に注目されていることを再認識しました。

住宅デーで寄せられた募金を磯子区社協に寄付したことをきっかけに、災害に強い安心安全な街

## 南横浜支部 まちの救助隊 磯子区社協と災害時協定締結

南横浜支部まちの救助隊は11月24日、磯子区社会福祉協議会で「磯子区」で想定される災害とその対応「磯子区社協の災害時の取り組み」「まちの救助隊の任務と役割と成果」の研修会・記念講演を開催しました。講演に先立ち、発災時に組合とスムーズな連携をとれるよう災害時協定を締結しました。



協定書を交わす面執行委員長(左)と磯子区社協会長

づくりに向けた懇談を重ねて、災害時協定締結調印式をむかえました。近年では、温暖化の影響で局地的な大雨やスーパー台風による風水災害が増加しています。また、大規模地震への備えも必要です。被災地の一日でも早い復旧のため、建設技

能者の職能が必要とされる場面がますます増えることでしょう。私たち建設労働組合が全国各地の復興支援で得た知見や教訓を、地元である磯子区の防災および発災時に活かせるよう、仲間と共に奮闘します。

記 光野 友樹

## 副委員長 よこちゃん & むっくんが行く 常任中執 やっぱり群会議 湘南支部 長後分会・6群会議



ホワイトボード使って案内

湘南支部の長後分会6群は、35人の大所帯。会場は地域の公民館を利用します。時間になると続々と組合員が集まってきました。長後分会6群は、以前は一つの分会だったのですが、2年前に湘南支部が地域再編を行った際に長後分会と合併し、一つの群になりました。

組合員のみなさんが概ね集まり、会場に座った頃、群会議がスタート。まずは群会議の話題を読み合わせ、次に署名と納入、続いて健康チェックではお互いの身体を気づかい、笑いも絶えません。この日、6群に入って3ヶ月の組合員の奥さんが参加していただき、和やかな雰囲気の中、健康チェックを行っている合間にいろいろ話をしているのと、組合員の夫が「仕事仲間を広げたい」と話しているとのこと。話しを聞いた甲斐では、仲間を楽しんでもらえるイベントや、仕事に役立つ学習会などたくさんやっていますので、ぜひ参加してください。こうした話ができることが健康チェックを行っている醍醐味ですね。

仕事の話しや最近あったことなど、話が尽きない賑やかな群会議でした。

住宅デーで寄せられた募金を磯子区社協に寄付したことをきっかけに、災害に強い安心安全な街

能者の職能が必要とされる場面がますます増えることでしょう。私たち建設労働組合が全国各地の復興支援で得た知見や教訓を、地元である磯子区の防災および発災時に活かせるよう、仲間と共に奮闘します。

記 光野 友樹

奮闘します。

記 光野 友樹